

『週刊新潮』で好評連載中の中家会長のコラム「ピンチをチャンスに!」の第32回(5月16日号)、第33回(5月30日号)掲載分は、『月刊JA』のHPからもご覧いただけます。

## 中家会長 5月定例会見 会長からのメッセージ

中家会長は5月15日、理事会終了後、定例会見を行いました。「新しい天皇陛下がご即位されたことにJAグループの代表として、謹んでお喜び申し上げます。新しい令和の時代を迎えて、農業・農村の活性化により、日本の未来がより一層明るくなるよう、JAグループとして取り組んでまいりたい」と冒頭のあいさつを述べました。

5月末、政府の定める農協改革集中推進期間が期限を迎えますが、これまでの自己改革の成果は着実に表れたものと認識しています。前回の第27回JA全国大会において販売品の取扱高の拡大を共通目標に定めました。平成26年度の4兆3,300億円から平成28年度の4兆6,900億円と3,600億円増加しました。3月には自己改革の進展や実績をまとめた「JAの活動報告書」を示しましたが、改革集中推進期間は一つの通過点で、組合員、地域住民の皆さんにとって、

なくてはならない組織であり続けるよう、JAグループの自己改革に終わりはありません。今後も不断の取り組みを進めてまいります。

5月7日、国際協力機構(JICA)と連携協定を結びました。5月11、12日に新潟で開催されたG20農相会合の閣僚宣言の附属文書でもJAグループのアジア農業協同組合振興機関(IDACA)の途上国への協力の事例が紹介されました。若手のJA職員や農業者が国際貢献を行うことは意義深く、私の身近にも若い頃、途上国で農業支援に

取り組んだ農業者がいますが、帰国後は経験により身に付けた国際感覚を力にして、地域でリーダーとして頑張っています。

令和の新しい時代になって農に関心が向いていると感じます。多くの消費者・国民に農業・農村を見直していただけるよう、さらに情報を発信していくことが重要です。

会長メッセージはJAグループのウェブサイト (<https://org.ja-group.jp/message>) に掲載しています。

## JAグループのコンテンツを配信 YouTubeに「アグリンch」開設

日本テレビが展開する動画配信サービス「テレビバ」と連携し、JAグループのコンテンツを紹介する「アグリンch」をYouTubeに開設しました。まずは、2011年10月から2015年3月までJAグループの1社提供のミニ番組として放送された『アグリンの家』を再編集・再加工し、5~8分のロングバージョンとして、4月から毎週日曜日に公開しています。

『アグリンの家』は、双子の姉妹が全国の生産者を紹介するとともに、生産者の食材を使った四季折々の料理を通して「育てるこだわり」「受け継いだ先人の知恵」「野菜のためになる話」など、1話ごとに独自のストーリーを展開します。



「アグリンch」では、新規コンテンツについても制作し、随時配信を行う予定です。

## 国際協力機構とJAグループ の連携協定を締結 協同組織づくりを支援

JAグループは国際協力機構(JICA)との間で連携協力の推進に関する基本協定を締結しました。5月7日、中家会長、北岡JICA理事長による基本協定への署名式が行われました。

アジアなどの途上国では、小規模な家族農業が人口の多くを占めており、農産物の共同出荷や資材の共同購入で生産性が高まること指摘されています。しかし、自分たちで業務効率を図る組織を運営する経験が乏しく組織化の遅れが課題になっています。

そこで、農業者の組織化・産地づくりや農産物販売について長年の知見を有しているJAグループが、日本の農業協同組合のような協同組織づくりを支援することで、アジアの途上国の農業・農村の活性化に大きく貢献することが期待されています。

また、日本の農業者やJA職員がアジアの現場で活動に参加することで、人材育成や日本農業の問題解決につながると考えられています。